

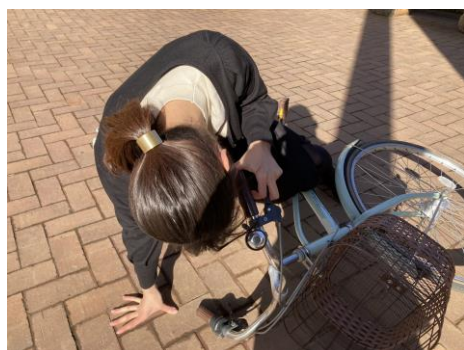
災 害 発 生 状 況 図



自転車で走行（徐行）中、車道から歩道に入る際、前輪が段差に引っ掛かり、右側に転倒した。

※車道より歩道が高い（段差は約4 c m）

図1 転倒直前の車輪の様子



転倒の際、右手を地面につき（図2、3）、右足を右ペダルと地面の間に挟んだ（図4）。

右手に痛みはなかったが、右足の甲に痛みが生じた。

図2 転倒の様子（前方から）

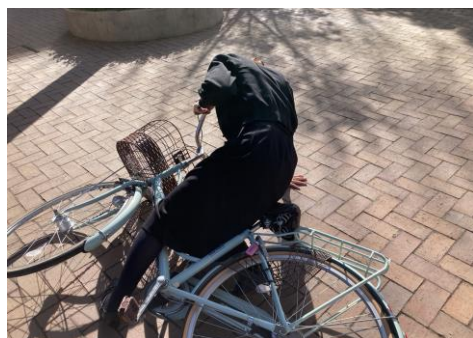


図3 転倒の様子（後方から）



図4 右足の甲が挟まった様子

(注) 災害発生時の状況（体勢、負傷部位等）をできるだけ具体的に、わかりやすく、写真や絵により図示してください。

災 害 発 生 状 況 図



荷物運搬のため、膝を曲げ、腰を屈め、床にあった荷物（10kg）を持ち上げたところ、腰からグキッと音が鳴り、激しい痛みが生じ、しばらく（20分ほど）体が動かなくなった。



持ち上げた荷物は、1箱5kgの段ボール2箱である。

(注) 災害発生時の状況（体勢、負傷部位等）をできるだけ具体的に、わかりやすく、写真や絵により図示してください。